

平成27年度行政事業レビューシート

( 厚生労働省 )

事業名	依存症対策			担当部局庁	障害保健福祉部			作成責任者		
事業開始年度	平成22年度	事業終了 (予定)年度	平成32年度	担当課室	精神・障害保健課			富澤 一郎		
会計区分	一般会計			政策・施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-					
主要政策・施策	障害者施策			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	薬物・アルコールを中心とした各種依存症対策(以下「依存症対策」という。)においては、依存症そのものの回復に向けての取組を充実させることが重要であることから、依存症対策の先進的な取組を行う地域を支援するとともに、外部有識者による依存症対策についての検討を行う。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	依存症対策の関係者から構成される検討会を設け、先進的な取組を行う団体の採択や、国において今後必要とされる依存症対策の推進のための検討を行う経費。									
実施方法	直接実施									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	1	1	1	1	1			
	執行額	1	0	0						
	執行率(%)	100%	0%	0%						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度			
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-		
	-	-	目標値	-	-	-	-	-		
	-	-	達成度	%	-	-	-	-		
定量的な 成果目標 の設定が 困難な 場合	定量的な目標 が設定できない 理由及び定 量的な成果目 標	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績					
	事業の妥当性 を検証するた めの代替的な 達成目標及び 実績	依存症対策の検討を行うための事務費であり、定量的な成果目標を設定することは困難。			必要に応じて検討会を開催し、依存症対策における課題に対して取り組みを図る。24年度においては、「依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会」報告書を取りまとめ、26年度においては、依存症治療全国拠点機関の運営に関する会議を開催したところ。					
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	代替目標	代替指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度			
	予算執行率の向上	検討会を開催するための予算の執行率	実績	%	100	0	0	-		
			目標値	%	100	100	100	100		
			達成度	%	100%	0%	0%	-		
活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込					
会議の開催回数	活動実績	回	7	0	1	-				
	当初見込み	回	5	5	5	5				
単位当たり コスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込				
	単位当たりコスト	百万円	0.1	-	0.1	-				
	計算式	X/Y	1百万円/7回	-	0.08百万円/1回	-				
平成27-28年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由						
	依存症対策	1	1							
	計	1	1							

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	依存症対策は喫緊の課題であり、当該対策においては地域の実情に応じた取組が必要不可欠である。また、依存症当事者やその家族等からも当該対策を強く求められており、国民や社会のニーズを的確に反映しているといえる。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	依存症対策については、地方自治体等と共同して推進する必要がある。また、本事業の実施に当たっては国において評価を行う必要があるため、本事業は国主導のもと実施する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	依存症対策は平成25年12月成立のアルコール健康障害対策基本法や薬物乱用防止五か年戦略等においても強く求められており、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	会議開催回数に応じた出席委員に係る諸謝金・旅費等必要なものに限定されている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	会議開催経費等、費目・使徒が事業目的に即し、真に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	依存症対策については、平成25、26年度については執行実績が低調となったが、アルコール健康障害対策基本法の施行(平成26年6月)、刑法の一部改正(平成25年6月公布、公布から3年以内に施行)、特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律案の国会提出(継続審議)に伴い、平成27年度以降は、薬物、アルコールに加えギャンブルの依存症対策の推進が図られることを勘案すると、執行率も大幅に改善されると考えている。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		△	依存症対策に伴う成果実績を見込んでいたところがあるが、結果として見込みを下回る実績に留まった。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業は地域の実情に応じて、実施自治体において先駆的な取組を実施・検証を行うことで、より効果の高い依存症対策が図られると考えている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	<p>地域依存症対策支援事業については、平成23年度まで実施した地域依存症対策支援モデル事業において特に効果的と思われる取組について更なる検証を行い、地域における依存症対策の推進に努めているところ。</p> <p>また、平成24年11月から平成25年3月まで実施した「依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会」では、依存症の現状を踏まえ、求められている取組の検討を行い、今後の依存症対策につなげていくこととしていたところ。</p> <p>さらに、当該検討会報告書を受け、平成27年度からは依存症者に対する治療・回復プログラムの普及・支援事業を実施することとしており、当該事業の実施にあたり、検討会を開催するため、平成27年度は同額を計上したところ。</p>			
	改善の方向性	当該経費は、上記依存症対策の検討会の開催経費として必要なものに限定されており、今後とも適切な執行に努める。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の一部改善	活動実績が低調に推移している要因を分析し、執行率の改善を図ること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	<p>これまでは依存症対策を目的とした事業は多くなかったことから、当該経費の執行が低調に推移していた要因として考えられるが、平成27年度からは新たに二つの補助事業を開始しており、さらに、平成28年度要求においても、依存症の普及啓発事業及び依存症のかかりつけ医等への研修事業を新たに盛り込んでいるところであり、これらの新規事業の実施に当たり、必要な検討を加えるための経費として、前年度と同額を計上した。</p>				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	870	平成24年度	752
平成25年度	780	平成26年度	778		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
0.08百万円

依存症対策の関係者から構成される検討会を設け、先進的な取組を行う団体の採択や、国において今後必要とされる依存症対策の推進のための検討を行う経費。



(支出)

A:個人(4)  
0.08百万円

(地域依存症対策支援事業評価検討会の実施に係る経費)

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. 長野県精神保健福祉センター所長 小泉典章			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
報償費	評価検討会謝金	0			
旅費	評価検討会旅費	0			
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	長野県精神保健福祉センター所長 小泉典章	地域依存症対策支援事業評価検討会	0-		-
2	独立行政法人国立精神・神経医療センター精神保健研究所薬物依存研究部部长 和田清	地域依存症対策支援事業評価検討会	0-		-
3	医療法人社団天紀会こころのホスピタル町田副院長 蒲生裕司	地域依存症対策支援事業評価検討会	0-		-
4	独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター院長 樋口進	地域依存症対策支援事業評価検討会	0-		-